



# 校長室だより 足立区立第九中学校

第11号 令和2年6月30日発行 佐藤 豊



一斉登校開始から一週間が経過しました！

教室にも校庭にも元気な生徒の姿が戻ってきました。第九中学校には元気な生徒の姿が一番似合います。校舎も校庭も生徒を喜んで受け入れているように思えます。



一斉登校が開始され一週間が経ちましたが、だんだんソーシャルディスタンスが保てない場面が出てきています。油断は大敵です。新型コロナウイルスの集団感染が確認された北九州市小倉南区の小学校について、厚生労働省のクラスター対策班がまとめた暫定報告では、「感染の機会の可能性としては、授業中や休み時間、登下校時などが考えられる」と指摘しています。また、東京都でも24日、多摩地域の都立特別支援学校で、新型コロナウイルスの感染に伴い、この学校に勤務する教員の感染が確認され、学年を閉鎖すると発表されました。最近のコロナウイルスの感染状況をみると、一斉登校が始まり教職員や生徒が感染した報告が増えています。本校でも細心の注意を払い教育活動に当たりますが学校が再開された以上は、ウイルスが持ち込まれるリスクがあることは、想定しておかなければならないと思います。

以前、学校で罹患者がでたとき、一部の心ないネットユーザーによって、学校名や学級、氏名や住所までが公開されるという事態に発展しました。ウイルスの次にやってくる本当の恐怖は、正しい知識をもたず、偏見や差別に発展し、いじめ等が発生することなのです。

第九中学校では、生徒に対して新型コロナウイルスに関する正しい知識を理解させることにより、偏見や差別意識の解消、いじめ等の未然防止につながるよう指導をして参ります。

新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導資料（生徒用教材）

## 止めよう差別的感染 広めよう感謝の心

見えないウイルスへの不安から生じる偏見や差別を受け、悲しみ、苦しんでいる人たちがいます。



コロナウイルスに感染し、体調が悪化。苦しい状況で治療を受けています。

コロナウイルスと闘う患者さんを、昼夜を問わず支えていらっしゃる方々がいます。



本当に多くの方に支えられ、病気が治りました。家族にも笑顔があらわれます。

それなのに、元気になった彼に、「コロナがうつるから、近寄るな」と心無い言葉をかける人がいます。どうしてこんなことに…



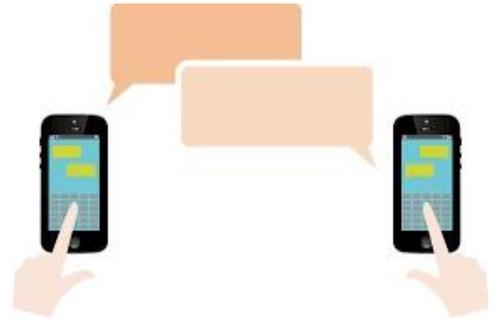
とても残念なことに、感染者やその家族、医療関係者等への不当な偏見や差別、いじめ、SNS等での心無い書き込みが起きています。

なぜこのようなことが起きるのでしょうか。私たちは、どうすればいいのでしょうか。

こうした偏見や差別は、**決して許されることはありません！**

**LINE を使ったいじめが今問題になっています。**

LINE を使ったいじめにはいくつかのパターンがあるそうです。1つ目は、LINE にはグループ機能といって、複数で会話を共有できる機能があります。そのグループ機能を用いて、グループの中で、特定の人の悪口を言い合ったり、嫌がる写真や動画をメンバーで共有したりするという行為があります。2つ目は、仲間はずれをする行為です。上記のグループから誰かを退会させたり、特定の人だけを除いたグループを作ったりして LINE 上で仲間はずれを行います。3つ目は、LINE 上で無視を行うことです。LINE ではメッセージを受信し、そのメッセージを読むと「既読」というマークがつき、メッセージを見たかどうか送信者にもひと目でわかるようになっていています。A さんが LINE 上で何かを呼びかけたところ、既読マークはつくものの誰も返信しないのに、その直後に B さんが LINE 上で呼びかけたところ、B さんの発言についてはグループ内のメンバーが返信をする、A さんの発言のみ誰も返事をしない、というような場合が、LINE 上の無視に該当します。



LINE は東日本大震災から生まれた「人と人を結ぶ線」です。「既読」の機能を付けることによって、災害に巻き込まれてすぐには返信のできない状況であっても、メッセージが読まれたことが送信者に分かり、送信者は相手の無事を確認することができるようにしたのです。善にも悪にも活用できる LINE に対しての正しい知識をもっていれば悪用する人が減ると私は信じています。

**教育実習生のお別れのご挨拶を掲載いたします。**

**【内木 裕也 先生】**

長いようで短い三週間でした。私が担当した授業は最後の一週間のみでしたが、生徒たちが主体的に授業に取り組んでくれたお陰で、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、特殊な社会状況下であったため、通常とは異なる学校の様子についても知ることができました。これは本当に貴重な経験だと思います。この三週間で学んだこと・吸収したことを、しっかりと将来に繋げたいと思います。最後になりますが、私たち教育実習生を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

**【木村 雄志 先生】**

3 週間の実習を終え、今は生徒のみんなにまた会いたいという気持ちでいっぱいです。実習を通して学んだことは、生徒目線であることです。周囲に対して常にアンテナを張り巡らせ、どんなに小さいことでもそれに気付くことや、間違えてしまうことになっても、自ら行動することの大切さを知り得ることができました。

中でも私にとって一番大きな学びは生徒とたくさん関わることができたことです。分散登校中に実習が始まり、私以上に生徒のみんなも戸惑いが多い時期だったと思います。それでも一斉登校が始まると、私の呼びかけに応じてくれる生徒ばかりで、不安だったことも次第に和らぎ、楽しく過ごすことができました。

この実習は、人として成長できた経験になりました。受け入れてくださった足立区立第九中学校の先生方には心から感謝しています。3 週間お世話になりました。